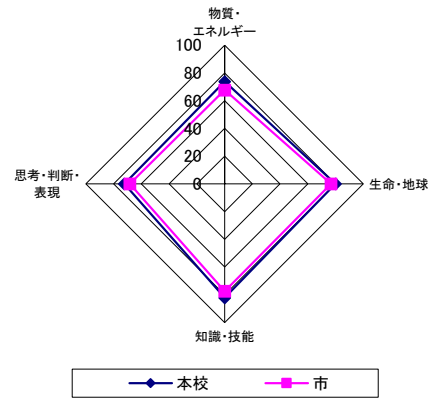


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	73.8	67.8	64.1
	生命・地球	79.9	76.7	78.3
観点別	知識・技能	82.1	77.4	78.3
	思考・判断・表現	72.2	68.3	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「液体と固体を分ける」では58.3%で、市の正答率を9.8ポイント上回っている。 ○「方位磁針の針のようすから電磁石の両端の極を推測することができる」では、60.9%で、市の正答率を18.5ポイント上回っている。 ○「天ぷら油についた火にぬれたタオルをかぶせると、火が消える理由について説明できる」では、67.8%で、市の正答率を12.3ポイント上回っている。 ●「電磁石が鉄を引きつけたり放したりできる理由を考えることができる」では、80.9%で、市の正答率を2.2ポイント下回っている。 ●「糸を引いていくと振り子の周期がどのように変わるか説明できる」では、市の正答率をやや下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・電磁石は、電気が流れているときだけ磁石のはたらきをもつという性質を身の回りの電化製品の仕組みから関連して考えられるようにする。 ・振り子の1往復の時間が変わるの、おもりの重さやふれはばには関係なく振り子の長さによって変わることを様々な長さの振り子を使って実験することで考えられるようにする。特に2メートル以上の長いものを体育館などで実際に行うことで体感することができるようにする。
生命・地球	○「春ごろの日本付近の天気の変わり方を理解している」では59.1%で、市の正答率を5.9ポイント上回っている。 ○「酸素が多い血液を理解している」では68.7%で、市の正答率を8.4ポイント上回っている。 ○「メキシコサンショウウオの耳のような部分がえらであることを推測し、はたらきについて考えることができる」では93.0%で、市の正答率を9.0ポイント上回っている。 ●「ポリエチレンのふくろの中に息をふきこんだ理由を指摘できる」では74.8%で、市の正答率を4.9ポイント下回っている。	・日光が当たっている植物は、空気中の二酸化炭素を取り入れ酸素を出していることを調べる実験では、空気中の窒素・酸素・二酸化炭素の割合を考え0.04%と少ししか存在しない二酸化炭素の量を分かりやすくするために呼気を入れた袋を使うことを考えられるように、話し合いの時間を確保するようにする。